



応援ソング「一瞬」(北川たつや)はコラボしやすいように、アコースティックギターの弾き語りソング。
(左)北川さん、(右)坂東さん

MINOH オリジナル応援ソングで高校球児にエールを

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、中止となった「全国高校野球選手権大会」。大阪独自の高校野球大会の開催は決まったが、開会式も勝利チームの校歌斉唱もなく、3年生の保護者以外は観戦ができず応援団がいないうえに甲子園のテーマソングもない。

高校3年生の球児をもつ坂東さんは「テーマソングがないとテンションが上がらない」という子どもの声でそのことに気付いた。「自分達で応援ソングを制作できないか、この思いに賛同して曲を作ってくれるアーティストはいないか」。そう考え浮かんだのは、坂東さんと同じ箕面出身で、京セラドームでのプロ野球公式戦で3年連続国歌斉唱を経験し、箕面J-POP大使であるシンガーソングライター「北川たつや」さんだった。

北川さんは北摂の活性化のため、箕面のゆるキャラ「モジーヌ」のテーマソングや、せんちゅうパル50周年記念「パルのうた」を

手がけている。そんな北川さんなら「力になってくれるだろう」と依頼すると、快諾してくれた。作詞するにあたり、北川さんは選手・マネージャー・保護者へのインタビューを行った。そこで印象に残ったのは「どんなことになっても野球ができる信じて練習を続けていた」「仲間と1試合だけでも一緒にできるのが嬉しい」という前向きな選手の言葉だったという。練習ができない間もLINEで仲間どうし励まし合い、マネージャーはモチベーションを上げるために自主トレの動画などを送っていた。「この経験は自分たちの財産にしてほしい、そしてこの応援ソングは関わったみんなの大切な思い出として心に刻んでほしい」と北川さんと坂東さんは共に語る。

この応援ソングは、7月15日にYouTubeで無料配信された。

シティライフニュースwebでより
詳しい記事とこの応援ソング
「一瞬」が視聴できる。



梅花から「令和」を初めて

北摂の御陵散策

大阪で「古代天皇陵」といえば、世界遺産に認定された百舌鳥古墳群・古市古墳群が想起されます。4~5世紀の歴史を知る貴重な存在です。これに対して、北摂には6世紀の御陵を訪ねることができます。第26代繼体天皇陵がそれです。不思議なことにふたつもあります。ひとつは宮内庁が管理する茨木市の太田茶臼山古墳。もうひとつは考古学の成果から推定された高槻市の今城塚古墳です。

どうしてふたつになったのでしょうか。繼体天皇陵は、『古事記』に「三島之藍陵」とあり、『日本書紀』に「藍野陵」と記されています。これが平安時代の『延喜式』になると、「摂津國嶋上郡」に在ると記されます。「嶋(=三島)」が、上郡と下郡に分けられていく歴史をたどることができます。この辺りにもっとも立派で、美しい姿を残した古墳を探してみると、太田茶臼山古墳があげられます。ただし、「太田」は下郡の諸属です。江戸時代の国学者で知られる本居宣長は、「藍」に「安威」という地名が残されていることに着目して、「古へは上の郡なりにしや、今は下の郡なり」と考えました。異論はなく、明治時代に入ってから、太田茶臼山古墳が繼体天皇陵に認定され、宮内庁に管理されています。

出かけてみると、傍らには西国街道(古山陽道)が通り、まわりに陪塚をいくつも備え、堀に水をたたえた美しい姿を観ることができます。

考古学的には、この古墳が年代にあわないとの調査結果を得ています。西国街道(古山陽道)を、もう少し東に進んだところにある今城塚古墳からは、他に類を見ない大きな家形埴輪等が出土しました。こちらが本当の繼体天皇陵であろうと推定されています。美しい公園に整備され、無料の資料館を備えて、古墳の周囲をめぐることができるばかりか、その気になったら登ることさえできます。

ひとりの御陵をめぐって、ふたつの古墳を訪ねられる。ある意味で、とても贅沢な歴史空間が楽しめます。

TEXT

梅花女子大学教授 市瀬 雅之

現代訳から原文までを用いて『万葉集』に文学を楽しむほか、『古事記』や『日本書紀』等に日本神話や説話、古代史をわかりやすく読み解く。中京大学院修了 博士(文学)。著書に『大伴家持論 文学と氏族伝統』(おうふう 1997年)、『万葉集編纂論』(おうふう 2007年)、『北大阪に眠る古代天皇と貴族たち 記紀万葉の歴史と文学』(梅花学園生涯学習センター公開講座ブックレット 2010年)。ほか執筆・講演・講座多数

FM COCOLO × CITYLIFE / 音楽のCOCOLO Vol.14

FM COCOLOの人気DJが季節やテーマに合わせた音楽を紹介。

rodiko なら、パソコン・スマートフォンでFM COCOLOが無料でクリアに聴ける!



FM COCOLOは『25/10 the Encounter』と言うキャッチフレーズで出会いの素晴らしさを再確認するキャンペーンを展開中

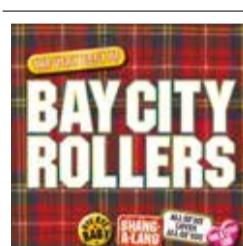
SELECT DJ

山添 まり



12月7日生まれ。89年FM802第一回DJオーディションに合格。以後FM802で活躍後、2018年4月よりFM COCOLOに移籍。料理やワインに詳しく、また英国の文化にも精通している。欧洲旅行(特に英国)、美術館巡り、電気街通り(日本橋)とボーリングや卓球など多趣味。担当番組は「PRIME STYLE FRIDAY」(金曜 10:00-14:00)、「PRIME STYLE SATURDAY」(土曜 10:00-14:00)。番組Twitter @PRIME_STYLE_765

10代の頃の私に大きな影響を与えた“出会い”的アーティスト



ALBUM
ヴェリー・ベスト
(期間生産限定盤)
ARTIST
ベイ・シティ・ローラーズ

洋楽を聴くようになったきっかけは? DJを始めてから幾度となくそう聞かれます。簡単に言えば当時の洋楽アイドル。日本でも70年代後半に驚くほどの社会現象だったスコットランド出身のベイ・シティ・ローラーズとの出会いが私の人生そのものを変えた、と言ってもいいかもしれません。彼らのキャッチャーなポップソングに胸躍らせ、歌詞カードを見て一緒に歌うために英語を勉強し、試験勉強にはその歌詞から文法を覚え、いつしか彼らを紹介するラジオに夢中になり、その楽しさ、音楽を届ける仕事、そこに興味を持つようになったのです。学生時代は放送部に属しアナウンスも勉強。もう、まっしぐらですね。若いて素晴らしい。あの情熱はあの時だからこそだったのでしょう。オリジナルアルバムも是非聞いてほしいのですが最新のベストアルバムでヒット曲をご堪能ください。作られたアイドルだったのかもしれません、一人の人生を形作ってくれた事、これは正真正銘の事実です。

BAY CITY ROLLERS(ベイ・シティ・ローラーズ) / 1970年代のイギリスが生んだ最大のアイドル・グループ。1971年に「朝まで踊ろう」でレコード・デビュー。「想い出に口づけ」「太陽の中の恋」などでシングル・ヒットを連発して、世界中で人気爆発。「サタデイ・ナイト」は、1976年に全米NO.1に輝く大ヒットを記録している。1979年にグループ名をシンプルに“ザ・ローラーズ”に改名して、現在も活動を続けている。

箕面公園いいね！プロジェクト <イベント案内>

昆虫館

ご来館のまえに
新型コロナウイルス
感染防止のための
お知らせとお願い
昆虫館は「密集・密接」と
なりやすい空間です。
「密」をさけ、
感染防止を徹底するため
現在、入館者数の制限や
館内イベントの中止、
館内一部コーナーの利用制限、
見学の際のマスク着用願いなど
対策をおこなっております。
ご来館のまえに
昆虫館ホームページで
確認をお願いいたします。

「カブ・クワ展」

さあ夏だ!日本と世界のカブトムシ・
クワガタたちがキミをまっている
会期▶7月22日(水)~8月31日(金)
場所▶館内生体展示コーナー
(※さわることはできません)



箕面公園昆虫館



「昆虫化石展」

昆虫館所蔵、約1億5000万年前
~1000万年前の昆虫化石12点と
中峰館長所有、琥珀の昆虫化石を公開!
琥珀の調査研究により新属新種を
記載・分類した中峰館長ら研究チームの
最新の論文も紹介、この機会をお見逃しなく

会期▶7月8日(水)~9月7日(月)



「もっときらめく昆虫展」

単色、複雑なグラデーション、角度によって変わる色。
様々な輝きや色合いをもつ昆虫たち。
夏はきらめく蝶を中心です(標本展示)

会期▶1月15日(水)~10月26日(月)

